

間島秀徳展 天地無常

The Kinesis Always Reveals New Panoramas

そこに新たな風景が MAJIMA HIDENORI



「Kinesis No.749 (sansui)」2021年 撮影:飯村昭彦

【展覧会概要】(資料2～4ページ参照)

間島秀徳(1960-)は、かすみがうら市を拠点として、水をテーマに制作する現代作家です。1980年代後半から個展を中心に活動を続け、特に2000年代以降は、ギリシア語で「運動」「変化」を意味する「Kinesis(キネシス)」を作品のタイトルとしています。墨や絵の具を水の動きによって画面に定着させた作品は抽象的でありながらも、私たちの前にひとつの「風景」となって立ち現れます。

本展は、過去最大規模となる間島の回顧展です。初期作品から「Water Works」「Kinesis」シリーズ、そして最新作に至るまで、およそ40年にわたる画業を振り返ります。間島作品と響き合う五浦の景観とともに館全体を使った展示をお楽しみください。

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:塩田 釈雄(しおた しゃくゆう)/広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

1 展覧会名 間島秀徳展 天地無常

The Kinesis Always Reveals New Panoramas —そこに新たな風景が

2 会期 令和5年9月13日〔水〕～令和5年11月26日〔日〕

休館日：月曜日、10月10日〔火〕

(ただし、9月18日〔月・祝〕、10月9日〔月・祝〕、11月13日〔月〕は開館)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

3 会場

茨城県天心記念五浦美術館 展示室A・B・C

4 主催等

主催：茨城県天心記念五浦美術館

協賛：いばらき観光キャンペーン推進協議会

5 後援

朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局

毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会

かすみがうら市／かすみがうら市教育委員会／武蔵野美術大学

6 入館料

一般840(730)円／満70歳以上420(360)円／高大生630(520)円／小中生320(210)円

※()内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方
および付添いの方1名は無料

※土曜日は高校生以下無料

※9月16日〔土〕～22日〔金〕は満70歳以上の方無料

※11月13日〔月〕は茨城県民の日のため全ての方無料

7 主な出品作品

「Project3」1987年(2023年修復)

「Untitled」1993年、練馬区立美術館蔵

「Water Works No.6」1999年、日立市郷土博物館蔵

「Kinesis No.215」2004年、茨城県近代美術館寄託

「Kinesis No.294 (hydrometeor)」2006年、東京都現代美術館蔵

「Kinesis No.413 (black wind)」2009年、小杉放菴記念日光美術館蔵

「Kinesis No.699 (cosmic flow)」2017年

「Kinesis No.705 (jackknife)」2017年

「Kinesis No.749 (sansui)」2021年

「Kinesis No.770 (cosmic flow)」2023年

8 作家略歴

- 1960年、茨城県生まれ。
1986年、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。
2000～2001年、文化庁在外研究員としてフィラデルフィア(ペンシルベニア大学)、ニューヨークに滞在。
2002年、「第1回東山魁夷記念 日経日本画大賞展」(ニューオータニ美術館)出品。
2004年、個展「Kinesis in 六角堂」(茨城大学五浦美術文化研究所・天心邸)開催。
2009年、個展「Kinesis/水の森—小杉放菴とともに—」(小杉放菴記念日光美術館)開催。
2015年、グループ展「6つの個展 2015」(茨城県近代美術館)開催。
2021年、個展「FUSION ～間島秀徳 Kinesis/水の宇宙&大倉コレクション～」(大倉集古館)開催。
2015～2021年、信州大学教育学部教授、2021年から、武蔵野美術大学教授。
かすみがうら市在住。

9 本展のみどころ

- (1) 間島秀徳の個展としては過去最大規模の展覧会です。修復作業を経て久々に公開される初期作品から、今年の個展で発表された最新作までを紹介し、間島芸術の軌跡を辿ります。
- (2) 企画展示室だけでなく、エントランスロビー、展望ギャラリー、岡倉天心記念室など全館を使い、壮大なスケールで間島作品を展示します。
- (3) 間島秀徳の個展では、これまで会場館のコレクション(古美術や民俗資料)とのコラボレーション展示が行われてきました。本展では企画展示室の一角で、茨城県近代美術館の所蔵作品(小川芋銭[1868-1938]の掛軸)と間島作品をあわせて展示します。芋銭と間島、活躍した時代の全く異なる二人ですが、ともに霞ヶ浦から大きなインスピレーションを受けた画家の共演にご期待ください。
- (4) 会期中、作家による制作ワークショップや講演会、また企画展示室内で行われる舞踏と演奏など、様々なイベントが目白押しです。
- (5) 会場内では、作家本人による作品解説動画を配信します。(9月22日[金]より配信予定。スマートフォン、イヤホンの貸出はございませんので、お客様ご自身で準備の上ご来館ください。) また、会場内の作品は一部をのぞき撮影可能です。(私的利用に限ります。)
- (6) 本展のために作家が特別に制作した立体作品を特設コーナーに展示します。こちらの作品は、どなたでも自由にさわって鑑賞することができます。

10 広報文

- (1) 間島秀徳(1960-)は、茨城県かすみがうら市を拠点として、水をテーマに制作する現代作家です。1980年代後半から個展を中心に活動を続け、特に2000年代以降は、ギリシア語で「運動」「変化」、あるいは「生成」「死滅」を意味する「Kinesis(キネシス)」を作品のタイトルとしています。更に副題として添えられる「cosmic」「seamount」「dragon」などのキーワードは、作品を前にした者に自然の壮大なスケールを連想させます。墨や絵の具を水の動きによって画面に定着させた作品は抽象的でありながらも、私たちの前にひとつの「風景」となって立ち現れることでしょう。本展は、過去最大規模となる間島の回顧展です。初期作品から「Water Works」「Kinesis」シリーズ、そして最新作に至るまで、およそ40年にわたる画業を振り返ります。間島作品と響き合う五浦の景観とともに、館全体を使った展示をお楽しみください。(357文字)
- (2) 間島秀徳は、かすみがうら市を拠点として、水をテーマに制作する現代作家です。個展を中心に活動を続け、特に2000年代以降は、ギリシア語で「運動」「変化」を意味する「Kinesis(キネシス)」を作品のタイトルとしています。墨や絵の具を水の動きによって画面に定着させた作品は抽象的でありながらも、私たちの前にひとつの「風景」となって立ち現れます。本展は、過去最大規模となる間島の回顧展です。初期作品から最新作に至るまで、およそ40年にわたる画業を振り返ります。(217文字)
- (3) 間島秀徳は、かすみがうら市を拠点として、水をテーマに制作する現代作家です。過去最大規模の回顧展となる本展では初期作品から最新作に至るまで、およそ40年にわたる画業を振り返ります。(88文字)

11 会期中のイベント 茨城デスティネーションキャンペーン関連イベント

(1)クロストーク

- ・出演：間島秀徳×小泉晋弥（当館館長）
- ・日時：11月3日[金・祝] 13時30分～（約60分）
- ・会場：講堂 ※要企画展入場券、先着114名

(2)Kinesis ～舞踏と音楽のコラボレーション～

間島秀徳の作品に囲まれた舞台上、即興の舞踏と音楽が演じられます。

- ・出演：上杉満代(舞踏)、入間川正美(チェロ)
- ・日時：10月9日[月・祝] 13時20分～（約40分）
- ・会場：企画展示室 ※要企画展入場券、事前予約者優先(20名程度)
- ・申込方法：申込フォーム

(3)間島秀徳による制作ワークショップ

絵の具や墨、砂など、身近な素材を用いて参加者全員で大きな絵をつくります。

- ・日時：9月16日[土] 10時～12時30分
- ・会場：滄海広場 ※荒天時はエントランスロビー
- ・対象：小学生から高校生20名 ※要事前申込、参加費無料
- ・申込方法：申込フォーム

(4)トワイライトコンサート

- ・出演：杉田愛実(クラリネット)、高野真美(ピアノ)
- ・日時：10月28日[土] 17時～
- ・会場：エントランスロビー ※要企画展入場券、事前予約者優先(200名程度)
- ・申込方法：申込フォーム

(5)ギャラリートーク

展覧会担当者が作品解説を行います。当日の参加者に限り、作品にふれる体験ができます。

- ・日時：9月30日[土]、11月19日[日] 各日13時20分～（約40分）
- ・会場：企画展示室 ※要企画展入場券、申込不要

(6)天心書斎障壁画ツアー

学芸員とともに、岡倉天心記念室内に再現された天心書斎の障壁画を鑑賞します。

- ・日時：9月24日[日] 10時～11時(1回10分程度)
- ・会場：岡倉天心記念室 ※要入場券、先着30名

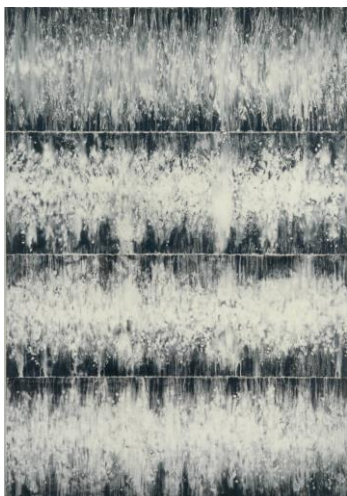
(7)来て・見て・発見！アートツアー for kids

- ・日時：10月14日[土] 10時～（約90分）
- ・会場：展示室、講座室
- ・対象：小中学生と保護者5組[1組4名まで]、要事前申込、先着順
- ・申込方法：申込フォーム

(8)小泉晋弥館長による親子向け鑑賞ワークショップ

- ・日時：11月25日[土] 10時30分～（約90分）
- ・会場：展示室
- ・対象：小中学生と保護者5組[1組4名まで]、要事前申込、先着順
- ・申込方法：申込フォーム

【広報用図版】 ※表紙の「Kinesis No.749 (sansui)」も提供可能です。



「Untitled」1993年、練馬区立美術館蔵



「Kinesis No.215」2004年、茨城県近代美術館寄託
(五浦・六角堂でのインスタレーション)



「Kinesis No.705 (jackknife)」2017年
(ホテル雅叙園東京でのインスタレーション)



「Kinesis No.699 (cosmic flow)」2017年 撮影:飯村昭彦

【問い合わせ先】

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
 - ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
 - ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
 - ・図版はデータでの提供となります。
- 広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



当館HPへ

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083
 TEL: 0293-46-5311 FAX: 0293-46-5711
 E-mail: kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp
 展覧会担当: 塩田 稔雄 / 広報担当: 大津 友美
 ※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。